

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による

教育委員会の点検・評価

(令和3年度対象)

令和4年7月

富津市教育委員会

目 次

I	はじめに	
1	本市の点検・評価の概要	1
2	教育委員の活動状況	2
II	点検・評価	
1	学校教育の充実	3
	（1）教育総務課の取組	6
	（2）学校教育課の取組	7
	（3）教育センターの取組	9
	外部評価者による評価	11
2	生涯学習の充実	13
	（1）生涯学習課の取組	14
	（2）公民館等の取組	18
	ア 中央公民館	18
	イ 富津公民館・埋立記念館	20
	ウ 市民会館・峰上地区公民館	22
	外部評価者による評価	24

I はじめに

1 本市の点検・評価の概要

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定により、毎年、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その報告書を議会に提出するとともに公表するよう定められています。

また、同条第2項では点検・評価に当っては、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

富津市教育委員会では、平成20年度の事業から毎年、点検・評価を実施してきました。

今般、令和3年度の点検・評価が終了しましたので報告します。

市民の皆様は、教育委員会が行っている日常の業務や課題を知っていただき、一層のご支援を賜りたいと考えています。

(2) 報告書の構成

令和3年1月に新たな『富津市教育施策』が策定され、「学校教育の充実」と「生涯学習の充実」の2項目に分けて、それぞれ施策指標とそれに対する到達点を明示しながら、取組の実際と自己評価及び学識経験者2名の評価と意見を記載しました。

また、学識経験者の評価と意見は、分野ごとにまとめていただきました。

評価

A：事業の効果が現れている。

B：事業の効果が概ね現れている。(一部に問題がある。)

C：事業の効果があまり現れていない。(多くの問題がある。)

富津市教育委員会

令和4年3月31日現在

職 名	氏 名
教 育 長	岡 根 茂
教育長職務代理者	池 田 亨
委 員	坂 部 充 洋
委 員	嶋 野 和 正
委 員	藤 平 慶 子

2 教育委員の活動状況

(1) 定例会議等・・・毎月開催、必要に応じて臨時に開催

- 4月22日 ・富津市公民館運営審議会委員の委嘱について 等
- 5月20日 ・令和3年度富津市一般会計予算教育費6月補正予算（第2号）案について 等
- 6月24日 ・富津市学校給食運営委員会委員の委嘱又は任命について 等
- 7月29日 ・令和2年度教育委員会の点検・評価に係る報告書の作成並びに議会への提出及び公表について 等
- 8月19日 ・令和3年度富津市一般会計予算教育費9月補正予算（第6号）案について 等
- 9月24日 ・富津市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
- 10月29日 ・富津市立図書館整備基本計画（素案）について 等
- 11月18日 ・令和3年度富津市一般会計予算教育費12月補正予算（第8号）案について 等
- 12月23日 ・富津市公民館のあり方の策定について 等
- 1月27日 ・富津市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 等
- 2月14日 ・富津市立図書館整備基本計画の策定について 等
- 3月29日 ・令和4年度富津市学校教育の指針を定めることについて 等

(2) 教育委員会協議会・・・教育委員会の検討、協議の場

- 6月24日 ・教育委員会の点検・評価（令和2年度対象）について

(3) 総合教育会議・・・市長、教育委員会により構成され、大綱の策定、教育を行うための諸条件の整備等、重点的に講ずべき施策等の協議・調整を行う。

- 11月18日 ・富津市立図書館整備基本計画（素案）について

(4) 教育長及び教育委員の研修等

- 6月24日 ・千葉県都市教育長協議会全体会
- 1月27日 ・第2回教育長・教育委員研修会（動画配信視聴）

(5) 学校訪問

- 5月11日 天羽小学校・環小学校・天羽中学校
- 5月12日 大貫小学校・吉野小学校・佐貫小学校・大佐和中学校
- 5月13日 青堀小学校・富津小学校・飯野小学校・富津中学校

(6) その他

関係団体・機関の会議等は感染症の影響により多くが書面開催となった。

入学式及び卒業式は新型コロナウイルス感染症対策として、一部規模を縮小して実施した。

Ⅱ 点検・評価

1 学校教育の充実

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和3年度)
きめ細かな指導のために配置する指導員等の人数	外国人指導助手 (ALT) 3人	3人	3人
	自立支援指導員 4人	4人	3人
	適応指導相談員 2人	2人	2人
	指導補助教員 7人	10人	12人
	英語指導員 3人	3人	3人
	特別支援教育指導員 6人	7人	6人
	読書支援員 0人	3人	3人
	I C T支援員 0人	2人	3人
学力の向上 保護者アンケートによる「児童生徒が確かな学力を身に付けるための取組」に対する保護者の肯定的な評価の割合	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和3年度)
	88.8%	92%	87.9%
読書活動の推進 読書が好きな児童生徒の割合	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和5年度)	令和3年度 (到達点)
	80.7%	86%	81.5%

富津市に愛着や誇りを持つ児童生徒を育む活動の推進	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和5年度)	令和3年度 (到達点)
自分の地域を肯定的に捉えられる児童生徒の割合	88.6%	90%	90.8%
自分の地域の良さが回答できる児童生徒の割合	94.5%	96%	91.0%
健康教育の推進	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和5年度)	令和3年度 (到達点)
肥満傾向の児童の割合	12.3%	10%以下	10.7%
肥満傾向の生徒の割合	9.8%	8.5%以下	14.3%
歯垢が付着している児童生徒の割合	20%	15%以下	20.7%
学校を卒業した後も、自主的に運動やスポーツに取り組むたいと考える児童生徒の割合	75.8%	82%	88.0%

◎教育部全体での取組（教育かわら版の発行）

教育委員会が日頃行っている業務等について、市民に理解していただくために教育かわら版を平成20年度から発行しており、今年度で通刊55号を迎え、計3号を区長回覧し、併せて富津市ホームページに掲載した。

7月発行の53号は、教育委員の紹介、タブレット型情報端末を活用した授業、スポーツ活動における感染症対策の実施について等、11月発行の54号は、運動会の報告、指定された学校以外への就学について、2月発行の55号は、生涯学習バスの新規購入、学校給食における地産地消の推進、就学援助制度・育英資金制度の紹介等、多種多様な内容の紹介に努めている。



53号（令和3年7月発行）



54号（令和3年11月発行）



55号（令和4年2月発行）

(1) 教育総務課の取組	教育委員会の自己評価 B
1 主な事業と決算見込額	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育振興費 (14, 862, 170円) ・育英資金貸付金事業 (0円) ・学校施設整備事業 (406, 537, 427円) ・青堀小学校校舎改築事業 (4, 620, 000円) 	<ul style="list-style-type: none"> 理科教育振興備品 1, 952, 500円 教材備品 2, 737, 205円 図書備品 3, 684, 949円 等 工事請負費 394, 155, 222円等 市内小中学校トイレ改修工事 飯野小学校校舎屋上防水改修工事 吉野小学校屋内運動場屋根等改修工事ほか 体育館耐力度調査業務委託料
2 令和3年度の取組の概要と効果(成果・課題等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育振興費 <ul style="list-style-type: none"> 予算の適正な執行管理に努め、国の補助制度も活用し、各学校の教材等の充実を図った。 ・育英資金貸付金事業 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は新規貸付の申請が無かった。 ・学校施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 前年度からの繰越事業として実施した小中学校のトイレ改修工事が完了し、便器の洋式化、床の乾式化のほか一部手洗い場の自動水栓化など、小中学校のトイレ環境の改善を図った。また、飯野小学校校舎及び吉野小学校屋内運動場は、施設の老朽化により著しい雨漏りが生じていたが、それぞれ屋上防水工事及び屋根等改修工事によって雨漏りが解消した。 上記のほか、校舎等の緊急修繕等を速やかに実施した。 市内の多くの学校施設は、建築年の経過とともに老朽化が進んでいるが、児童・生徒の学習・生活の場、教職員の職場であるとともに、地域住民との交流や災害避難所の役割を果たす重要な施設であることから、安全で安心して施設を利用できるよう計画的に施設維持に必要な整備に取り組む必要がある。 ・青堀小学校校舎改築事業 <ul style="list-style-type: none"> 校舎の改築に際し、体育館の整備手法を検討するため耐力度調査を実施し、校舎同様に所定の耐力度に達しない結果となった。 	
○今後の取組の方向性(改善策等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・育英資金制度の利用実績が乏しいことから、調査・研究を進め、条例改正を含む制度の見直しを図る。 ・青堀小学校校舎等の改築に当たり、耐力度調査の結果を受け、次年度以降、既存体育館の課題等を含め施設全体の整備方針の検討を行うこととした。また、関係者の意見を踏まえた基本構想・基本計画を策定することで当該事業を円滑に推進する。 ・学校施設については、富津市教育施策のとおり安全・安心な教育環境づくりに努めるとともに、「富津市小・中学校再配置計画」、「富津市学校施設整備基本計画」に基づき、施設の老朽化対策及び教育の資質向上を図るため計画的な施設整備を実施する。 	

等)を実施していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、実施することができなかった。

- ・要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業

準要保護児童・生徒として264人(前年度比-13人)を認定し、学用品費・給食費・通学費補助・医療費等の援助を行った。

- ・特別支援教育児童・生徒就学援助事業

特別支援学級在籍の児童・生徒75人(前年度比+8人)を認定し、学用品費・給食費等の援助を行った。

- ・学校感染症対策等支援事業

学校における新型コロナウイルス感染症対策が長期化している中、次期感染拡大の備えも見据え、各学校において感染及びその拡大リスクをできる限り低減させながら、教育活動を実施できるよう、学校保健特別対策事業補助金(国1/2補助)を活用し、乾熱滅菌器及びデジタル身長体重計などの保健用品等を整備し、感染症対策の強化を図った。

○今後の取組の方向性(改善策等)

- ・特別支援教育指導員配置事業

今後も各学校のニーズに応じた増員に向け、さらなる充実を図る。

- ・学校給食管理運営事業

現在3箇所ある調理場を統合し、新たな共同調理場が完成するまで、既存調理場の安定した運用のため、施設及び厨房機器等に必要な維持補修、修繕等を実施していく。また、令和4年9月からの学校給食費公会計化に伴う規則等を整備し、システム管理に向けて口座振替に必要な準備を行う。

- ・給食材料費

安全・安心な給食の安定した継続のため、給食従事者研修の充実、食材の安全確保に努める。また、給食に使用する食材の地産地消を推進し、各調理場での取組を公表する。

- ・給食施設整備事業

「富津市学校給食共同調理場整備基本設計」に基づき、「富津市学校給食共同調理場実施設計」を行い、併せて新共同調理場の建設に向けて、敷地造成工事設計業務、敷地造成工事及び埋蔵文化財発掘調査業務を実施する。

- ・食育推進事業

児童生徒及びその保護者が、生涯健康な生活を送ることができる環境を整えることを目的に、継続した指導が実施できるよう、検討する。

- ・学校における歯科保健指導事業

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、染め出しを行わないなど、内容を工夫して、歯科衛生士と連携した指導の実施に努める。

- ・要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業

準要保護認定基準を生活保護認定基準の1.2倍未満から1.5倍未満へ引き上げ、経済的な理由によって就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学に必要な援助を実施し経済的負担の軽減を図る。

(3) 教育センターの取組	教育委員会の自己評価 B
<p>1 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業 (16, 109, 598円) ・教職員研修推進事業 (57, 876円) ・外国語指導助手配置事業 (11, 385, 000円) ・ICT教育推進事業 (42, 814, 200円) 等 	
<p>2 令和3年度の取組の概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業 <p>市内全小中学校に、指導補助教員12人(小学校9人・中学校3人)を配置し、授業中の個に応じた指導や少人数指導の推進、適応指導教室での学習支援等を行った。また、全ての小学校で学習のつまずきの解消並びに学習意欲の向上を図るために、低学年を中心に希望者を募り、放課後学習教室を実施した。児童のアンケート調査結果は、「勉強をする場所として、放課後学習教室は役に立ちましたか」の問いに対して、95%が「とても役になった・役に立った」と回答した。次年度は、放課後学習教室の全校実施が2年目となるので、内容の充実を図りたい。</p> <p>また、小中学校の新生に学習習慣の確立を図るために「家庭学習の手引き」を配付している。令和3年度は、小学生版の内容を見直し配付した。</p> <p>重点を置いている「読むこと・書くこと」については、令和5年度の目標値を定め、その達成に向けて各学校で取り組んでいる。</p> <p>令和3年度末の結果は、以下のとおりだった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」について、『読書が好き、どちらかというが好き』と答えた児童・生徒の割合 小学生86%・中学生75% ○小学生で「1日16分以上読書をする児童の割合」42% 中学生で「全く読書をしない生徒の割合」60% ○「授業で黒板に書いてあることを書き写している児童・生徒の割合」小学生85%・中学生90% ○『自分の考えを書きなさい』と発問されたときに自分の考えをまとめて書くことができる児童・生徒の割合」小学生81%・中学生77% <p>読書が好きな児童・生徒を増やしていくために、一層の創意工夫が必要である。</p> ・教職員研修推進事業 <p>令和2年度に中止されていた夏季教職員研修会は、令和3年度はGIGAスクールの推進・教育相談・国語・図工美術・富津市を学ぶ等の11講座を開設し、延べ239人の参加があった。本研修会は希望制で実施しており、新型コロナウイルス感染症対策として、会場・オンライン・紙面を併用して研修を実施した。若年層教員が増えている今、教員の指導力に向上に向けて、研修のニーズに応えられるように努めていく。</p> ・外国語指導助手配置事業 <p>今年度も3人のALTを全小中学校に派遣し、授業等で活用できるように配置した。</p> <p>また、英語教育推進事業では、小学校の外国語科・外国語活動に、3人の英語指導員を継</p> 	

続して配置し、ALTとともに担任の指導を補助し、授業の充実を図った。

・ICT教育推進事業

ICT教育の環境が整い、1人1台の情報端末を活用した学習活動を本格的に開始した。教職員が、積極的にICTを活用した授業を展開することができるよう、夏季教職員研修会では基礎編と応用編に分けて実践研修を行った。また、各学校で校内研修会等を通じて、学習アプリの円滑な導入を図り、アプリ機能の理解、授業での活用事例を共有した。

更に、ICT支援員を3人配置し、各校に訪問（半日×7回/月程度）して授業支援やICT環境整備支援を行った。

・富津市通学路安全対策協議会

児童生徒の登下校時における通学路の安全確保に向けた取組を関係機関（富津警察署、国・県道路関係者及び市関係部署、PTA代表等）が連携して推進し、各学校から報告のあった通学路の危険箇所の合同点検を行い、危険箇所の改善等を協議し、対策を行った。特に令和3年度は、八街市の痛ましい児童の交通事故を受けて、日程を前倒しして行い、関係機関と連携して対策等を進めた。

その他、生徒指導・教育相談体制として自立支援指導員3人を小学校3校・中学校2校に、適応指導相談員2人を適応指導教室に継続配置した。また、引きこもりや不登校、家庭内暴力や発達、障がいなどに関する悩みについて、心療内科精神科の専門医による相談を実施しており、10件の相談があった（前年度比同件数）。

県配置のスクールカウンセラーは、配置日数に差はあるが年度途中から全小中学校に配置され、相談件数は延べ1,219件（前年度比-15件）であり、教育センターへの電話及び来所による相談は29件（前年度比+15件）であった。教育センターでの「いじめ相談メール」については、QRコード付きのカードを全児童・生徒に配付し、友人関係や学校生活についての悩みがある場合の相談方法について周知した結果、令和3年度は2件の相談があった。

今後も児童生徒の学校生活を充実させるために、学校と連携して努力する。

○今後の取組の方向性（改善策等）

・学力向上推進事業では、「読むこと」「書くこと」の取組を継続させ、特に読書活動の推進に重点を置く。具体的には、読書好きの子供を育てることを大切にする。読書の日の設定し、推進するとともに、読書支援員を有効活用できるように学校支援を行う。また、市内全小学校での放課後学習教室については、内容の充実を目指す。

・教職員研修推進については、若年層教員が増加しているため、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、ニーズに合った体制を整備し、研修の充実に努める。

・ICTを活用した学習環境は概ね整ったので、今後はICTを活用した授業改善を進め、文部科学省が掲げる「個別最適化された学び」を実現するための授業改善を一層図っていく必要がある。また、機器を導入してから年数が経過し、1人1台端末の経年劣化による故障なども考えられるので、適切に運用を継続できるようにしたい。

・今後も、教育センター職員がきめ細かな学校訪問等を通して、子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう、教職員の指導力向上などの様々な側面からも引き続き支援を行う。

外部評価者による評価

外部評価者（I）の評価 B

意見

トイレの洋式化については、各学校で改修が完了し、よりよい学校環境につながったと思います。また、各学校施設の老朽化に対しては再配置計画を加味した整備が求められると思いますので、教育委員会と首長部局との間で横断的な検討体制を構築し、学校施設の適正規模・適正配置や複合化・共用化、管理運営・維持管理の見直し等の検討などを行っていただきたいと思います。青堀小学校の改築を手始めに次年度以降にも継続的に取り組めるようお願いいたします。

学校給食費の徴収管理については、令和4年度より学校現場から教育委員会へ移行されることとなり教職員の負担軽減につながるのではないかと期待しております。また、共同調理場の建設に向けた事業も進んでおり、今後は、児童生徒の食物アレルギーについても対応できるよう配慮をお願いしたいと思います。

児童・生徒数が減少傾向にあるにもかかわらず、特別な支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にある中で、きめ細かな指導のために配置する指導員については、各学校のニーズに応えられる人数の確保が難しい現状です。子どもたちの多岐にわたる困り感に支援員が寄り添ったり、個別に指導したりすることで、落ち着いて取り組めたという成果も多々見られます。特別支援学級、通常学級の中で、困り感のある子どもたちのためにも、指導員数の目標値達成及び増員についてお願いします。

I C T教育に係る教育機器の整備が本市でも積極的に進められ、それに伴う授業改善を進められていることは、これからの社会を生き抜く子どもたちにとって非常に有意義であると思います。今後も、学習指導を通してどのような「資質・能力」の育成を目指すのかを明確にしながら、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力など」、「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱を中心とした教育が推進できるよう教育委員会としてのマネジメントをお願いします。

また、コロナ禍で集団が1つの目標に向かって協働し、各自の役割においてリーダーシップやフォロワーシップを発揮して活動できる場面が希薄にならないような学校経営や学級経営の工夫が求められるのではないかと思います。

今後も、教育委員会として研修の充実と優秀な人材確保を進め、今以上に積極的に施策の実現に向けた努力をお願いします。

意見

新たに策定された教育施策の初年度となった令和3年度については、引き続き感染症対策の中で様々な苦心をされて取り組まれたことと推察いたします。

学校教育の充実としても多くの施策指標を示し目標達成に向けて取り組みが進められ、「きめ細かな指導のために配置する指導員等の人数」においては、指導補助教員、読書支援員、ICT支援員など既に目標値に到達する項目も見られていることは高く評価できます。

しかしながら、「健康教育の推進」においては、肥満傾向の生徒の割合、歯垢が付着している児童生徒の割合に課題が見受けられます。改善策を考えられているので、目標に近づくよう次年度以降の取り組みに期待します。

学校施設、学校給食共同調理場の整備等については、市の財政状況も考慮される中で、適切に進められているように見受けられます。児童生徒の皆さんが安心して学校生活を送れるよう、引き続き、迅速な対応を図っていただきたいと思います。

ICTを活用した学習環境については、ハード面の環境が整いましたが、これを活用する教員の皆さんがどれだけ上手に活用していくかが課題と思われます。取り組みの方向性に示されていますが、適切に運用ができるよう、教育センターの支援に期待します。

重点を置いている「読むこと・書くこと」については、目標達成に向けた工夫に期待します。

2 生涯学習の充実

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和3年度)
学び、生かす生涯学習の推進			
公民館・市民会館利用者数	96,475人	100,000人	47,210人
人材バンク「まちの先生」の利用件数	62件	70件	28件
図書利用冊数	31,416冊	32,000冊	26,955冊
家庭教育への支援と連携・協働の推進	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和3年度)
放課後ルーム開設数	1箇所	4箇所	3箇所
青少年相談員連絡協議会事業の参加者数	1,075人	1,100人	342人
文化財の保存・活用と文化芸術活動の推進	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和3年度)
指定・登録文化財の件数	85件	87件	87件
文化財来訪者数 (市案内分)	466人	500人	350人
市民文化祭参観者数	14,271人	18,000人	※-
スポーツ・レクリエーションの振興	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和3年度)
スポーツ関連の行事参加者数	13,730人	14,000人	2,450人

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により中止した。

1 主な事業と決算見込額

- ・生涯学習推進事業 (66,880円) 生涯学習情報提供誌印刷製本費
- ・生涯学習バス運営事業 (4,598,067円)
- ・市制施行50周年記念事業生涯学習バス購入事業 (21,998,433円)
- ・図書館関係事業 (8,638,429円)
- ・ブックスタート事業 (151,470円)
- ・青少年相談員活動事業 (507,795円)
- ・青少年健全育成事業 (340,000円) 子ども会活動事業費
- ・文化財保護事業 (48,908,745円)
- ・市内遺跡発掘調査事業 (2,262,246円)
- ・富津市ふれあいスポーツフェスタ事業 (0円)
- ・社会体育振興事業 各種スポーツ大会等 2,408,072円
- ・スポーツ少年団交流事業 (0円)
- ・市体育施設管理運営事業 (49,297,975円)

2 令和3年度の取組の概要と効果(成果・課題等)

・生涯学習推進事業等

生涯学習情報提供誌を発行し、まちの先生や出前講座などにより学習を支援したが、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者は28件・5,159人と減少した(前年度比-3件・-624人)。

また、富津市立図書館整備基本計画の策定について社会教育委員会議に諮問し、計画の素案及び案についてそれぞれ意見公募、パブリックコメントを経て答申を受け、令和4年2月に策定した。

・生涯学習バス運営事業

令和3年度は、緊急事態宣言期間中の運行を休止したが、宣言解除後は感染症対策として、44人の乗車定員を約20人と半数程度に減らし、安全な運行に努めた。また、令和4年2月より2台体制の運行を開始したことにより利用者は97回・2,186人と増加した(前年度比+40回・+1,019人)。

・市制施行50周年記念事業生涯学習バス購入事業

市制施行50周年を記念し、生涯学習バスを新たに購入した。また、市内の小学生から図画を募集し、253人の応募から10人の作品を車体のラッピングに採用した。

・図書館関係事業

感染症対策のため、図書室を休室した期間もあったが、移動図書館を利用する保育所や学校での団体貸出が増え、貸出冊数は26,955冊まで回復した(前年度比+11,739冊)。

・ブックスタート事業

4か月児健診時に絵本を1冊贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心がふれ合う時間を持つきっかけを提供した。令和3年度は134人の赤ちゃんに絵本を贈った。

・青少年相談員活動事業

台風被害のため令和2年度は中止となった鋸山での青少年のつどい大会を開催し、雨天のため1週間順延となったが61人（大人18名、子ども43名）の参加者があった。

・青少年健全育成事業（子ども会活動事業）

子ども会ジュニアリーダー初級研修会の代替事業として君津亀山少年自然の家において、富津ウォークラリーを開催した。また、育成大会の代替事業として、ビンゴ大会を実施した。感染症対策により活動が制限される中、子ども同士や、地域の大人たちとの交流を図り、子どもたちの健全な育成に貢献した。

・文化財保護事業

史跡用地取得事業では、内裏塚古墳周溝内に所在する民有地2筆を買上げた。これにより、内裏塚古墳の公有地化率は約57%となった。

千種新田収蔵庫解体事業では、老朽化に伴い文化財収蔵庫として機能しなくなったため、解体作業を実施した。なお、保管していた収蔵物については、旧環南小学校の体育館へ全て移動した。

文化財周知板設置事業では、醫光寺木造薬師如来坐像（富津）、正覚院薬師如来坐像（上）に説明板を新規設置した。

文化財・文化財施設環境整備事業では、古墳等の草刈・樹木伐採等を行った。

鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会事業では、令和3年7月に鋸山が日本遺産「候補地域」に認定されたことを受け、鋸南町との共同で設立した鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会によって、鋸山来訪客に対するニーズ調査や、有償ガイドの育成、鋸山のシンボルマークの策定など、計8事業を実施した。

高宕山サル被害防止事業では、老朽化した電気柵の改修、発信器の装着、事業対象である高宕山周辺に生息するニホンザル個体群を対象に行動域の調査、指定地域の生息環境調査を行った。

内裏塚古墳群など市内の史跡見学会や講演会などへの参加者は、350人（前年度比+200人）であった。

・市内遺跡発掘調査事業

個人住宅建設、小規模宅地造成に伴い、佐貫城跡、亀塚遺跡、川島遺跡5、佐貫城跡2、亀塚遺跡2の計5箇所の発掘調査を実施した。

・富津市ふれあいスポーツフェスタ事業

新型コロナウイルス感染症の感染状況により中止とした。

・スポーツ少年団交流事業

新型コロナウイルス感染症の感染状況により中止とした。

・社会体育振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響により多くのスポーツイベントが中止となったが、市民がスポーツに親しみ、健康づくり・体力づくりができるよう、感染症対策を講じて一部スポーツ大会やスポーツ教室を実施した。

富津市長杯争奪少年野球大会 70人（前年度比+2人）

富津市教育長杯争奪少年サッカー大会 120人（前年度比+120人）

第37回F T S少年剣道大会 (中止)

「県民の日」記念第36回グラウンドゴルフ大会 69人 (前年度比+69人)

「県民の日」記念第36回バドミントン大会 163人 (前年度比+163人)

第26回F T S杯争奪少年柔道大会 (中止)

第38回F T S杯争奪少年野球大会 73人 (前年度比+5人)

第25回健康ウォークラリー大会 (中止)

君津地区スポーツクリエーション祭歩け歩け大会 (中止)

第38回F T S杯争奪インドアカ大会 (中止)

第28回F T S杯争奪ソフトバレーボール大会 (中止)

第25回F T S杯争奪グラウンドゴルフ大会 (中止)

君津地区スポーツクリエーション祭(インドアカ・ソフトバレー・グラウンドゴルフ) (中止)

富津市教育長杯争奪少年野球新人大会 61人 (前年度比-1人)

第7回ふれあいドッジビー大会 (中止)

ふれあいスポーツフェスタ (中止)

第44回ママさんバレーボール大会 (中止)

第36回市民ハイキング (中止)

第49回元旦歩こう大会 (中止)

第49回新春バドミントン大会 (中止)

第32回新春グラウンドゴルフ大会 72人 (+4人)

スポーツ教室(毎週土曜日) 1,822人 (+405人)

・市体育施設管理運営事業

公益財団法人富津市施設利用振興公社・ミズノ共同体を指定管理者として適正な運営に努め、市民サービスの向上を図った。

令和3年度利用実績

○総合社会体育館

メインアリーナ 1,104件・31,214人 (前年度比+656件・+12,886人)

サブアリーナ 1,711件・10,041人 (前年度比+747件・+3,740人)

トレーニングルーム 408件・531人 (前年度比-25件・-36人)

会議室等 17件・151人 (前年度比-7件・+16人)

○富津運動広場 74件・834人 (前年度比+28件・+373人)

○新富運動広場 188件・9,122人 (前年度比+98件・+4,183人)

○浅間山運動公園

テニス等 791件・4,420人 (前年度比+297件・+1,393人)

フットサル 22件・171人 (前年度比+20件・+151人)

野球 107件・4,526人 (前年度比+42件・+1,935人)

・市体育施設管理運営事業

総合社会体育館は、竣工から30年が経過し、老朽化しているため、今後は改修工事が必要となる。

・小中学校体育施設開放事業

59団体 6,605日 129,939人 (延数) (前年度比-1団体・+626日・+7,029人)

・第43回千葉県民マラソン大会 (千葉日报社・富津市陸上競技会主催、富津市共催)

感染症対策のため、中止とした。

○今後の取組の方向性（改善策等）

・生涯学習推進事業については、君津地域4市での推進大会への市民の参加を促すとともに、生涯学習情報提供誌の発行や「まちの先生」事業を継続して実施する。

・家庭教育指導員・支援員及び、社会教育指導員による「放課後ルーム」や「学習サポート会」の活動を通じて、地域学校協働活動の推進を図り、空き教室を利用した地域住民の「活動の場所」や「居場所づくり」を目指す。

・図書館関係事業では、令和5年度の市立図書館の開館に向けてイオンモール富津内での図書館整備事業を進め、よりよい図書館サービスを提供するため、公民館図書室、移動図書館、学校等と連携を図りながら、市民とともに成長していく図書館を目指す。

・文化財保護事業については、各種開発から埋蔵文化財を守り、引き続き保護と継承に努め、保存と活用を図る。

また、開発により保存できない場合には、発掘調査による記録保存の策を講じる。

・史跡等公有地化整備事業では、内裏塚古墳単体の公有地化を進めるとともに、内裏塚古墳群全体としての国史跡化を目指し、文化庁・千葉県など関係機関と調整を図る。

・鋸山については、引き続き鋸南町と共同し、日本遺産「候補地域」活用推進協議会で地域活性化のための各種事業を実施し、将来の日本遺産本認定を目指す。また、現在、日本寺エリアが県指定の名勝となっていることから、石切場跡までの範囲拡大、更に国名勝への格上げとともに、史跡指定に向けて取り組む。

その他、文化財関係事業として、市内の文化財周知板の整備を進め、新設や老朽化に伴う更新のほか、指定物件以外でも重要性の高いものについては、地域団体等の協力も得て説明板を設置し、市民や来訪者への周知に努めるとともに、市のホームページの充実を図るなど、広報活動に努める。

・社会体育振興事業では、スポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員と連携を図り、各種スポーツイベント等に、より多くの参加が得られるよう内容等を検討する。

また、身近な地域で生涯にわたってスポーツに親しめるよう総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。

・市体育施設管理運営事業では、指定管理者と協議しながら引き続き適正に管理運営する。

・小中学校体育施設開放事業では、各団体の利用調整を図り、健康増進、スポーツの振興に繋げる。

<p>(2) 公民館等の取組 ア 中央公民館</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>1 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館管理運営費 (12,728,675円) ・中央公民館学級・講座関係費 (420,705円) ・市民文化祭事業 (170,815円) 	
<p>2 令和3年度の取組の概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館管理運営 施設整備として、第3会議室の照明器具改修、空調機設置、消防設備修繕などを行い、新型コロナウイルス感染症対策のためのトイレ手洗い場蛇口の自動水栓化工事を行った。 ・中央公民館学級・講座関係 全15の学級・講座(前年度比-1)を計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催中止や開催回数の減少があった。 学級・講座の開催状況として、開催回数80回(前年度比+34回)、参加延人員849人(前年度比+397人)であった。 ・市民文化祭事業 新型コロナウイルスの感染状況により、参加団体等により組織される文化祭実行委員会により中止と判断された。 なお、中止と判断されるまでに企画運営を進めていたため、補助金170,815円を交付した。 	

<p>○今後の取組の方向性(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営については、計画的な施設改修等に係る個別施設計画の策定に向けて検討するとともに、施設利用者への環境整備に努める。 ・公民館学級・講座関係については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、感染対策したうえで実施する。 ・市民文化祭事業については、新型コロナウイルスの感染状況や千葉県のイベント等開催基準の情報収集に努め、3密回避等の感染対策したうえで実施できるよう富津市民文化祭実行委員会を支援する。

No.	講座の名称	開催回数	参加延人数	講座の主旨と内容
1	いきいき健康体操教室	7	105	自分の体の状態と弱点を知り、身の周りにある用具を使って、弱点を克服する体操を学び、グラウンドゴルフを行い、心身の健康増進を図る。
2	園芸教室	6	104	花や樹木の手入れや管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作り、害虫駆除、生垣作りなどの園芸技術を幅広く学ぶ。
3	シルバー生きがい学級	4	47	高齢者問題や社会問題等の学習を通して、知識の向上と学級生同士の交流を図り、生きがいのある生活の手助けとする。
4	さわやか女性セミナー	7	131	女性を対象に、知識の向上、受講者相互の交流を深め、いきいきとした生活の手助けをする。
5	折り紙教室	8	57	伝承折り紙から創作折り紙まで、アートとしても楽しめる折り紙の作品づくりを学習する。
6	キルト教室	11	96	キルトで作る小物入れや人形など生活に取り入れやすい作品づくりを学ぶ。
7	外国人のための日本語教室	20	147	在日外国人の方々が日本で生活するうえでの言葉の壁を少しでも減らし、地域の人とコミュニケーションを取れるようにする。
8	子ども折り紙教室	中止	中止	和紙、折り紙の歴史を学びながら、折る楽しさ、折ってからも楽しめる折り紙づくりを行い、折り紙の世界を広げる。
9	富津フォトハイスクール	6	65	一眼レフカメラで実際に撮影しながら撮影技術を学ぶ。初心者の方にも丁寧に指導します。 ※受講には一眼レフカメラが必要。
10	I C T 教室	3	12	昨今の急速な I C T (情報通信技術) の発展によって、生活が大きく変化している中で、A I やロボットなどの I C T がこれからの社会や生活にどのような影響を与えるのかを考える。
11	みんなのプログラミング教室	3	25	機材等を利用してプログラミングを自由に楽しく学びます。自分で学びたい言語を設定することもできます。
12	大人のわらべ歌講座	5	60	声を出す、体を動かす、頭で考える、に“笑う”も加わった、わらべ歌による心身のリフレッシュ講座。童謡、唱歌、わらべ歌の違いなど、奥深い魅力に触れることができる。
13	ポールウォーキング教室	中止	中止	足腰の弱い方でもポールを使い手軽にウォーキングやストレッチをしながら全身運動をする。
14	シニアのためのスマホ・タブレット講座	中止	中止	スマートフォンを気軽に利用できるようにし、生活における利便性を拡大する。シニア向け。
15	こどもチャレンジ教室	中止	中止	家庭や学校と異なる環境で、自主性、創造性、社会性を育むチャレンジ的な体験学習を進める。
	合 計	80	849	

イ 富津公民館・埋立記念館	教育委員会の自己評価 B
<p>1 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津公民館管理運営費 (30,968,119円) ・富津公民館学級・講座関係費 (360,480円) ・成人式事業 (604,425円) ・埋立記念館管理運営費 (2,676,243円) 	
<p>2 令和3年度の取組の概要と効果（成果・課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津公民館管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備として、非常用発電機工事、高架水槽の手すり取替などを行い、新型コロナウイルス感染症対策のためのトイレ手洗い場蛇口の自動水栓化を行った。 ・富津公民館学級・講座関係 <ul style="list-style-type: none"> 全17の学級・講座（前年度比+1）を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止や開催回数の減少があった。 学級・講座の開催状況として、開催回数94回（前年度比+24回）、参加延人員1,327人（前年度比+456人）であった。 ・成人式事業 <ul style="list-style-type: none"> 富津公民館にて、令和4年1月9日（日）に新成人による実行委員会の企画運営により成人式を開催した。 新成人対象者401人のうち出席者271人で、出席率67.6%であった。 記念行事として「富津でビンゴ！」を実施し、また、新成人が中学3年生時に二十歳の自分宛に書いた「二十歳への手紙」を後日郵送した。 ・埋立記念館管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 来館者数は1,732人であった。施設整備として、自動火災報知設備修繕を行った。 	

<p>○今後の取組の方向性（改善策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営については、計画的な施設改修等に係る個別施設計画の策定に向けて検討するとともに、施設利用者への環境整備に努める。 ・公民館学級・講座関係については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、感染対策したうえで実施する。 ・成人式については、民法改正による成年年齢の引下げのため、名称を「二十歳の集い」に変更する。実行委員会による企画運営は継続する。 ・埋立記念館については、施設の活用方法を検討する。
--

No.	講座の名称	開催回数	参加延人数	講座の主旨と内容
1	東京湾学講座	6	208	富津岬を中心に東京湾岸の歴史や文化、自然などについて、幅広い知識を学び、また、探査会を実施し学習する。
2	高齢者教室	中止	中止	年齢を重ねても健康で充実した生活を送るため、幅広い知識や教養、健康増進法などについて学ぶ。
3	エコパッチワーク教室	8	107	エコ、リメイクの意識を高めるため、古着の布と新しい布を組み合わせて使用し、パッチワークを学習する。
4	わらべうた遊びと育ち合い教室	中止	中止	ミニ講座・わらべうた遊び・散歩などを通して親子の育ちを学びあう。 (乳幼児と保護者対象・祖父母も可。)
5	健康スクール	6	80	自分でできる運動を中心に、日常的に体を動かす楽しさを学習する。
6	陶芸教室	7	62	お皿や小鉢など、世界に一つだけの「私の器」作りを楽しむ。
7	古文書を読む会	5	76	市内に伝わる古文書から、歴史について学習する。
8	折り紙教室	6	51	指先を使うことにより脳の活性化を図るとともに、多様な紙を用いて、季節の飾りや折り紙の作品づくりを学習する。
9	はじめての紙バンド手芸教室	7	71	古紙から再生される環境に優しい紙バンドを使い、趣味のバッグや小物等の実用品からアートまで幅広い作品を作る。
10	絵本読みきかせボランティア入門講座	5	31	絵本の読みきかせボランティア体験を通じて、読みきかせの楽しさやボランティアの喜びを学ぶ。
11	国際交流協会英会話教室	19	163	日常英会話を習得し、外国人との交流を通して富津市の豊かな文化を醸成する。NHKラジオテキスト（基礎英語3）を使用し、平易な日常英会話を学ぶ。
12	園芸教室	8	160	花や樹木の手入れ、管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作り、害虫の駆除などの園芸技術を学習する。
13	男の料理教室	2	35	手軽に作れる日常の惣菜など、初歩的な調理技術と酒の肴など、男性ならではの実践的な料理づくりを学習する。
14	ポールウォーキング教室	中止	中止	足腰の弱い方でもポールを使った負担の少ないウォーキング方法を学び、肥満や運動不足からくる生活習慣病の予防、ストレスの解消を図る。
15	子どもチャレンジ教室	中止	中止	日常で触れる機会の少ない体験学習を通じて、挑戦する心、自主性、創造性を育み、仲間づくりについて学ぶ。
16	富津探訪講座	9	219	史跡や文化財を見学しながら、市内各地区を歩き、ウォーキングを兼ねて、地域を再発見する。
17	趣味の体験講座	6	64	アロマセラピー・ハーブ、ソープカーピング、ブリザーブドフラワー等、趣味通じて日々の生活を豊かにする体験講座。
	合計	94	1,327	

ウ 市民会館・峰上地区公民館	教育委員会の自己評価 C
<p>1 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館管理運営費 (28,644,272円) ・市民会館学級・講座関係費 (32,425円) ・市民会館文化事業 (0円) ・市制施行50周年記念事業 (1,500,000円) ・峰上地区公民館管理運営費 (1,331,855円) 	
<p>2 令和3年度の取組の概要と効果（成果・課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館管理運営 施設整備として、消防用設備工事、ワイヤレスチューナーの修繕などを行い、新型コロナウイルス感染症対策のためのトイレ手洗い場蛇口の自動水栓化を行った。 市民会館を新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用したため、施設の貸館を中止とした。 ・市民会館学級・講座関係 全17の学級・講座（前年度比－1）を計画したが、市民会館を新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用したため、貸館と同様に中止とした。 令和2年度実施の教室・講座で、緊急事態宣言のため作品が未完成であった「かんたん手芸教室」については、中央公民館を会場として実施した。 ・市民会館文化事業 隔年で富津市民文化事業である「ふつつ学びの門」を開催しているが、令和3年度は富津市制施行50周年記念事業として実施することになった。 ・市制施行50周年記念事業 例年であれば、開催年度に市から学びの門実行委員会に補助金100万円を交付しているが、令和3年度は市制施行50周年記念事業として補助金150万円を交付した。 令和3年度は、富津公民館を会場として、山下一史氏指揮による千葉交響楽団の室内管弦楽と、田邊肇光氏の複音ハーモニカ演奏を計画し、令和3年12月19日（日）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、令和4年2月13日（日）、更に令和4年6月19日（日）へと2度の延期となっている。 ・峰上地区公民館管理運営費 富津市公共施設再配置推進計画に基づき、令和4年3月31日をもって閉館した。 	
<p>○今後の取組の方向性（改善策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営については、計画的な施設改修等に係る個別施設計画の策定に向けて検討するとともに、施設利用者への環境整備に努める。 ・公民館学級・講座関係については、ワクチン接種推進班と協議し、市民会館をワクチン接種会場として使用しながらも実施できるよう調整する。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、感染対策したうえで実施する。 ・市民会館文化事業は隔年開催であり、例年であれば次回は令和5年度が開催年度となるが、令和3年度事業であったものが令和4年度（令和4年6月19日）に延期になっているため、次回開催時期について検討する。 ・峰上地区公民館は令和3年度末をもって閉館したため、解体の方向で検討する。 	

No.	講座の名称	開催回数	参加延人数	講座の主旨と内容
1	歴史探訪講座	中止	中止	地域の歴史を文化・自然・人物・史跡などから再発見、学習する。
2	エコ・スクール	中止	中止	自然環境・動植物の環境から、ゴミ・リサイクル等の学習や現地視察を行い、幅広く学習する。
3	和菓子教室	中止	中止	日本古来から伝わる和菓子作りを基礎から学習する。
4	コーヒー講座	中止	中止	体に良いコーヒーの入れ方やお菓子に合うコーヒーの選び方、日常に使えるコーヒーについて楽しく学ぶ。
5	小筆教室	中止	中止	住所や名前など、生活に役立つ自分が習いたい文字を習う。
6	ディスカバーふつつ	中止	中止	「ふつつ」の良さ、すごさを再発見するための体験講座。各回15キロ程度歩く。
7	名画座	中止	中止	普段市民会館を利用する機会のない市民を対象とした昔懐かしい名画や話題になった映画を上映する。
8	たのしい手芸教室	中止	中止	身近にあるもので、暮らしに役立つ簡単なものを制作する。
9	こどもダンス教室	中止	中止	リズム感を養い、音楽にあわせて楽しく体を動かしながら、ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。
10	こどもチャレンジ教室	中止	中止	家庭や学校と異なる環境で、自主性、創造性、社会性を育むチャレンジ的な体験学習を進める。
11	お話の会（おはなしライブ）	中止	中止	幼児を対象としたお話会を開催し、親子がふれあうとともに同世代の親子が知り合う、また「読み聞かせ」や「絵本」に興味関心がある人など誰もが集える場を提供する。
12	ポールウォーキング教室	中止	中止	足腰の弱い方でもポールを使い手軽にウォーキングやストレッチをしながら全身運動をする。
13	健康料理教室	中止	中止	季節の食材を使い、主菜・副菜・デザートなどを料理する。
14	健康増進教室	中止	中止	健康で生き生きと生活できるすべを学ぶ。(健康な体づくり講座・ハイキング等)
15	シルバー生きがい学級	中止	中止	高齢化が進む中、レクリエーションや学習を通して、参加者どうしがふれ合い語り合う場をつくることにより、仲間づくりを進める。
16	シニアのためのスマートフォン講座	中止	中止	スマートフォンを気軽に利用できるようにし、生活における利便性を拡大する。(シニア向け)
17	かんたん手芸教室 (令和2年度事業分)	2	4	身近にあるもので、暮らしに役立つ簡単な小物を制作する。 ※市民会館が使用不可のため、中央公民館で開催。
	合計	2	4	

外部評価者による評価

外部評価者（I）の評価 B

意見

生涯学習バスが2台体制となり、その利用も増加していることから市民及び学校のニーズが高いことがうかがえます。市制50周年記念事業として大変素晴らしい取り組みだったと思います。

令和5年度の市立図書館の開館に向けた事業が進められていることは、大いに期待されることです。図書館サービスを向上するためには、各施設間のネットワークの構築も必要になってくると思いますので、今後の事業計画の中で検討していただきたいと思います。

文化財保護事業では、数多くの文化財が観光資源としても期待されることから、史跡指定の取り組みや説明板の設置など今後も継続的に取り組んでいただきたいと思います。富津市にある多くの文化遺産を周知すること、情報を記録化・累積化すること、伝統芸能の保存継承は未来の富津市の子どもたちに向けた重要な取組であると思います。

「放課後ルーム」や「学習サポート会」などの運営を1歩進めて地域コミュニティスクールの推進に舵をきったことは評価できますが、地域と学校の間を取り持つコーディネーターが必ず必要になります。この橋渡し役に学校職員が選ばれると業務が集中し、疲弊させ、結局連絡だけになってしまうのではないかとこの危惧があります。このような状態になると、目的を見失いやすくなり、学校が地域住民の活動の場所や居場所としての役割を果たせなくなってしまうのではないかと思います。教育委員会として予算の確保や人材の確保、マネジメントをよろしく願いたいと思います。今後の地域学校協働活動のあり方に期待します。

各公民館での講座や教室については、昨年度に引き続き各事業が、新型コロナウイルス感染防止、ワクチン接種会場としての使用により中止または縮小されたことは、やむをえないことであると思います。今後、少子高齢化や「新しい生活様式」の中で、市民のニーズをどのように捉えて魅力ある学習活動を提供できるか、また、開設をする上で、どのような条件整備が必要なのかを今後も引き続き検討していただきたいと思います。

意見

生涯学習の充実については、公民館等の各種講座やスポーツ・レクリエーションの振興において、感染症対策の関係から取り組みの難しさがあったことと推察されますが、各関係者等と感染防止策について協議、工夫をされて実施できた行事もあるようです。引き続き、様々な工夫をされ、市民の皆さんの学習・運動機会の確保に努めていただけるようお願いいたします。

令和3年度の市制施行50周年を記念事業に、市民の皆さんが生涯学習機会を増やせるよう生涯学習バスを1台追加し、より活用がしやすい環境が整ったことは大変すばらしいと思います。

また、令和3年7月、鋸山が日本遺産の候補地域に認定をされたことは、大変喜ばしいことです。鋸南町と共同して様々な取り組みが進められておりますが、日本遺産の認定、さらには県指定名勝の拡大、国名勝への格上げが実現するよう取り組みに期待します。

市民ニーズが高かった図書館の整備が進められることになりました。期待の高かった施設であるがゆえに様々な意見が寄せられることと思いますが、市全体としては公共施設再配置推進計画を策定するなど、将来に向けた公共施設の方向性も示していると思いますので、様々な関係者の意見も踏まえ、しっかりとしたコンセプトのもと、多くの市民に親しんでいただける施設となるように進めていただくことを望みます。

前年度、緊急事態宣言下のため実施できなかった成人式事業が実施されたことは大変良かったと思います。「二十歳の集い」となる令和5年の行事も良い行事となるよう期待します。